

<今日からできる！ごみを減らすための心がけ>

12 つくる責任
つかう責任



よんアール

4Rの推進

4Rの「R」はごみ減量に関する取り組みの頭文字です。

Refuse(リフューズ)

ごみになるものは事前に「断る」



- ・マイバッグやマイボトル、マイ箸などを使う
- ・買う前に本当に必要か考えてから買う

Reuse(リユース)

物を大切に「繰り返し使う」



- ・フリーマーケットやリサイクルショップなどを活用し、使わなくなったものを他の人に譲る

Reduce(リデュース)

ごみの量を「減らす」



- ・詰め替えができる商品を選ぶ
- ・生ごみの水を切る
- ・食品ロスを減らす

Recycle(リサイクル)

正しく分別して「再資源化する」



- ・市やスーパーなどのリサイクルステーションを利用する
- ・再生資源を使ったものなど環境にやさしい商品を選ぶ

食品ロスの削減

●食品ロスとは

食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。日本では1年間に522万トンもの食品ロスが生まれています。



●市の取り組み

市内のコンビニやスーパー、生鮮食品やパン、乳製品などを扱うドラッグストアへ市と環境衛生自治推進協議会で作成した「食品ロス啓発POP」を配布し、掲示をお願いしています。棚の手前にある商品は、消費期限や賞味期限が近い商品が多いので、すぐ食べるものは棚の手前から取る「てまえどり」を実践し、廃棄されてしまう食品を減らしましょう。



●食品ロスを減らすために私たちができること

- ①買い物の時は「使いきれ的分だけ買う」
「すぐ食べるものは、棚の手前から取る」
- ②料理の時は「食べきれる量を作る」
「食材を使いきる」
- ③食事の時は「おいしく食べきる」

補助額が上がりました！生ごみ処理機購入補助金制度

生ごみの減量対策として、生ごみ処理機器を購入する人に対し、費用の一部を補助する事業を行っています。

令和4年度から、補助上限額および補助率を拡大しました。補助率は購入額の3分の2、補助上限額は乾燥式およびバイオ式が7万円、コンポスト式が7千円です。

購入予定の人は、購入前に環境推進課まで問い合わせください。条件や申請方法をご案内します。

乾燥式…生ごみの水分を蒸発・乾燥させることで、雑菌が増えず臭いの発生を抑えることができます(機種によっては肥料をつくることもできます)。

バイオ式…微生物の力を借りて分解し、肥料をつくることができます。

コンポスト式…地面設置型で屋内用よりも臭いが気になりにくく、食品だけでなく庭の枯れ葉や枝なども一緒に処理できます。



乾燥式



バイオ式



コンポスト式